

1. 事業の概要

安全な水や衛生にアクセスできない人口を半減させることがミレニアム開発目標(MDGs)の一つとなっており、さらに本年開催されたG8サミット及び環境大臣会合において、気候変動等のストレスが淡水資源に及ぼす影響への早急な対応や、水に関する知見と技術の共有の推進等に積極的に取り組むことが議論された。また、第4回アフリカ開発会議(TICAD)においては、我が国のアフリカ環境支援強化が打ち出されたところである。特に、アフリカ地域では水と衛生にアクセスできない人口が多く、また、そこでは湖沼が食料の供給源等として人々の生存を支える等重要な存在であるが、同時に、湖沼環境は地球規模で進行する水資源の枯渇や生物生態系の悪化がもっとも顕著に表れる脆弱な環境である。

このため、我が国の知見を生かしながらアフリカ地域の水環境改善とMDGsの達成に向け、以下を実施する。

アフリカ地域における人々の生存に直結する淡水資源である湖沼にかかるストレスの状況や今後の予測を取りまとめ、緊急な対策が必要なモデル湖沼を選び、その流域を含む水環境管理計画を策定する。

安全な水へのアクセスが十分でない村落地域からモデル地区を選び、簡易水質調査や水に関する衛生啓発などに関しワークショップ等を通じた普及を行う。

2. 事業計画

調査項目	H21	H22	H23
・アフリカにおける湖沼にかかるストレス等の問題の現状分析および将来予測 ・モデル湖沼の水環境管理計画策定 ・水質や衛生に関する普及計画策定、現地でのワークショップ等普及の展開			

3. 施策の効果

我が国のアフリカにおける水環境支援の推進とそれを通じたアフリカの生活環境の維持向上、ひいてはMDGsの達成に資する。

アフリカにおける水環境改善

背景

- ・安全な水や衛生にアクセスできない人口を半減させることがMDGsの一つであり、特にアフリカにおいては喫緊の課題
- ・アフリカの湖沼においては、ガバナンスの問題や環境変化に対する脆弱性により種々の問題が顕在化
- ・TICAD における我が国の対アフリカ支援のコミットメント

具体的な問題

安全でない水源



住民による手堀浅井戸



公共用水栓の周りに家畜

湖沼環境の悪化



塩分が露出しているナクル湖
(ケニア)



ビクトリア湖(ケニア、
ウガンダ、タンザニア)
に導入された外来種
ナイルパーチ

実施内容

- ・エチオピア、タンザニア、セネガル等でモデル地区を選び、簡易水質調査や水に関する衛生に関しワークショップ等を通じ普及啓発
- ・湖沼にかかるストレスの分析と流域を含めた統合的な湖沼管理の推進



- ・安全な水へのアクセスの改善
- ・湖沼環境の改善
- ・我が国の対アフリカ環境支援への貢献